

令和 6 年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

専修学校クラーク高等学院大阪梅田校

1 はじめに

学校自己評価を行う上で、生徒や保護者を対象とする評価を通じて、学校運営や教育内容等に対して生徒・保護者がどのような意見や要望を持っているかを把握し、今後の取組や自己評価に活用することが重要である。

このため、本校では、在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するための「意識調査アンケート」を Web アンケートツール「Forms」により実施している。

なお、アンケートの実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する観点から無記名方式としている。

2 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の項目について、【1：とても満足している 2：やや満足している 3：あまり満足していない 4：全く満足していない】の四者択一方式で満足度調査を実施した。

令和 6 年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

	カテゴリー	1 年生	2 年生	3 年生
生徒	教科学習への満足度	72.5%	65.9%	62.2%
	グローバル教育への満足度	63.2%	69.2%	63.9%
	探究的な学びへの満足度	77.4%	65.3%	71.3%
	生徒支援への満足度	85.5%	79.8%	78.6%
保護者	担任の先生への満足度	85.2%	78.4%	82.4%
	学校行事・学校生活への満足度	78.4%	72.0%	79.4%
	前年度に比べてのお子様の成長感	81.2%	80.0%	83.5%

3 考察

(1) 生徒意識調査アンケート

全ての項目ではないが、学年が上がるにつれて生徒の満足度が低くなる傾向がある。生徒の求めるニーズに合致していない可能性が高い。

(2) 保護者意識調査アンケート

保護者の満足度は比較的高い。保護者会や公開授業を実施したことが要因と考えられる。

(3) 全体を通して

令和6年度については、昨年度同様、学校行事をはじめ様々な学習活動を公開することができたことが、外部関係者への認知度向上に繋がった。また、公開授業や保護者会の回数を増やすなどして、担任の教員と接する機会を増やしたことが保護者の安心にも繋がり良いことだと思う。全ての項目ではないが、生徒は学年が上がるにつれて、満足度が低くなる傾向があるため改善策を講じたい。特に、教科学習をはじめ生徒の満足度が低い項目については早急に改善をしていく。具体的には、授業力研修をはじめ様々な研修の時間を確保したい。特に、授業力研修については、校内及びグループ内の研修に留まっていたが、積極的に外部の研修に参加するなど、研修のマンネリ化を防ぐことにも同時に取り組み、教員の指導力の向上を目指したい。